令和８年度　大阪府立牧野高等学校　第１回学校運営協議会　議事録

日　時　令和８年６月15日（月）１５：００～１６：００

場　所　大阪府立牧野高等学校　校長室

出席者（敬称略）

協議会委員 松宮 新吾（会長)、有堀 正彦（副会長)、尾崎 由美、森 隆裕、
児玉　亮

学校長　　青竹 二郎

事務局　　川村 大作、鈴木 浩昭、清原 一輝

欠席者（敬称略）

協議会委員 莚井 順子

１．開会

会長・副会長の決定

＊事務局案 会　長 松宮 新吾 委員
副会長 有堀 正彦 委員

⇒ 承認

２．第 48 期生（令和８年３月卒）進路状況・・・川村教頭より説明

３．令和９年度教科書採択事務について・・・川村教頭より説明

４．令和７年度学校評価について・・・学校長より説明

●校長・・・昨年度第３回の本協議会で承認いただいた資料に、未確定であった大学入試の結果等を新たに記載している。

５．令和８年度学校経営計画について・・・学校長より説明

●校長・・・昨年度第３回の本協議会で承認いただいた資料に、中期目標について一部変更を加えている。また、未確定であった大学入試の結果等を新たに記載している。

６．協議

●委員・・・昨年度、授業を見学させていただて、牧野高校の授業は、落ち着いた学習環境で、生徒達も集中して授業を聞いていました。そのような環境の中で「授業がわかりやい」の評価が低下している要因は何があると考えていますか。

●事務局・・生徒たちは、中学校までの学習でペアワーク・グループワークが多いことに慣れていますが、高校の授業ではその割合は多くない印象があるのではなく、学習の理解に対する実感が薄いのではないかと考えています。今後は、共同的な

学習の機会を増やしながら、生徒の学習の定着に生かしていきたいと考えております。

●委員・・・中学校では、教員の負担軽減のため、部活動の地域移行が進められていますが、高校では部活動について、どのような対策がされているでしょうか。

●事務局・・高校では、民間委託ではなく、ペア校での合同部活動や、部活動指導員の導入などで、教員の負担軽減に取り組んでいます。ただし、全てを部活動指導員やペア校の顧問に任せることもできないため、部活動の主顧問には一定の負担があるのが現状です。土日・祝日等の活動を適正に行うこと、副顧問に活動の監督を任せるなども行っています。

●委員・・・「授業の予習・復習ができている」の評価が低下していることについて、対策を進めてほしい。

●委員・・・牧野高校生は、自転車通学の様子もしっかりしている。このような事を守れる生徒たちがいる学校であるという伝統を守っていってほしい。

●委員・・・本日のお話やかえる祭の見学内容を踏まえて、中学生にも高校生活をわかりやすく伝えていきたいと思います。

●委員・・・子どもは、勉強、部活動ともにがんばっています。今度とも、子ども達に選ばれる牧野高校の魅力を伸ばしていってほしい。

●委員・・・普通科のさらなる魅力を発信していくため、教職員・生徒が一丸となって募集戦略を展開していくとのこと、大いに期待しています。

●委員・・・かえる祭でのパソコン部の活動は、ゲーム作り等、専門的であり、生徒が主体的に学んでいる様子が印象的でした。また、軽音楽部は地域行事との関わりもあり、音楽を通して人を楽しませる活動であったと思う。
どのクラブでも生徒の受け答えが丁寧で、高校生としての成長が感じられました。

７．連絡

第２回の協議会は 11 月 20 日（金)、第３回の協議会は１月 26 日（火）で予定しております。

⇒ 承認

８．閉式

学校長よりお礼